

EPAI

CSR REPORT 2012

永大産業株式会社

木を活かし、よりよい暮らしを

人は遙か昔から「木」と暮らしをともにし、自然と調和してきました。

しかし一方で人は物質的な豊かさを求め過ぎるあまり、

深刻な環境破壊を引き起こし、

その結果、真の豊かさとは何かを見失ってしまいました。

私たちは住まいづくりの中で「木」を活かし、よりよい暮らしを実現することこそ、

本当の豊かさであると確信しています。

ただしそれは、この地球で「共に生きる」という思想のもと、

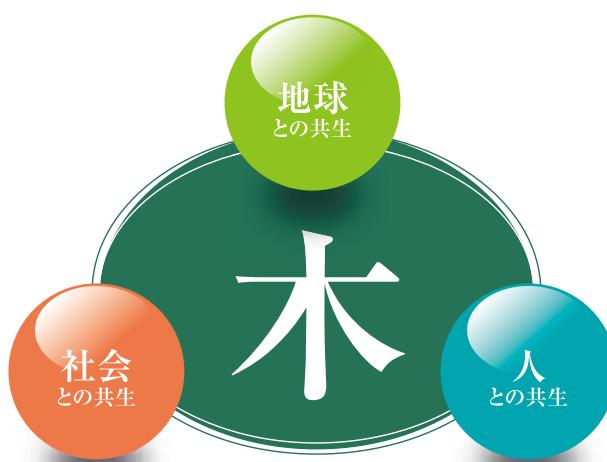
持続可能な社会が確立して初めて可能になる、と考えています。

永大産業はそのような社会を構築するため、

地球、社会、人との共生を通じて環境保全に取り組み、

なお一層、社会に貢献する企業であり続けることを目指しています。

永大産業は、持続可能な木材資源の利用を推進するかたわら、役目を終えた木製品や木質廃材が再び社会で利用されるよう、独自のリサイクルシステムで地球環境の保全に努めて参りました。当社は環境との調和を重んじ、地球との共生を継続していきたいと考えています。



永大産業は、社会の公器としての立場を認識し、広く情報公開を行い、透明性の高い経営に努めます。当社は法令を遵守し、社会的利益の還元を積極的に行うことで、これからも社会との共生を尊重していきたいと考えています。

永大産業は、誰にとっても健康的であり、なおかつ安全、安心に使えるモノづくりを目指しています。当社はそれら製品の使い易さ、快適さをさらに追求することで、人との共生をかたちにしたいと考えています。



高齢社会が進むなか、安全な住まいづくりを目指し、シニア世代向け製品群「セーフケアプラス」を開発しました(P7~8)



シックハウス症候群や化学物質過敏症などの問題に対し、空気環境に配慮した素材と製品での解決を図っています(P9~10)

編集方針

発行の目的

本報告書は、永大産業の環境、社会、企業統治に関する活動を、広く知っていただくために発行するものです。

編集方針

編集にあたっては、企業としての社会的責任を明確にし、環境および社会性報告、さらに企業統治の取り組みを詳しく説明することを重視しました。

報告対象範囲

永大産業株式会社(個別)
一部グループ会社の報告を含みます。

対象期間

2011年度(2011年4月~2012年3月)の活動を
掲載していますが、一部2012年の取り組みも報
告しています。

次回発行時期

2013年9月発行予定

参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン」(2007年版)
(財)日本規格協会「ISO26000:2010」

CONTENTS

- 1 基本理念
- 2 目次／編集方針
- 3 トップメッセージ／会社概要
- 5 事業紹介



トピックス TOPICS

- 7 [社会性] 高齢社会に対応したものづくり
- 9 [環境] 空気環境への配慮



環境報告 ENVIRONMENTAL REPORT

- 11 環境方針
- 12 木を活かした環境保全への取り組み
- 13 地球温暖化防止への取り組み
- 14 リサイクル活動の推進
- 15 産業廃棄物削減への取り組み
- 16 環境マネジメントシステム
- 17 マテリアルバランス 環境会計



社会性報告 SOCIAL REPORT

- 19 お客様とともに(消費者課題)
ショールーム お客様相談センター ホームページ
- 20 品質管理 化学物質の管理・抑制
- 21 従業員とともに(労働慣行・人権)
- 22 地域社会とともに(コミュニティへの参画)



コーポレート・ガバナンス CORPORATE GOVERNANCE

- 23 コンプライアンス/コーポレート・ガバナンス
- 25 リスクマネジメント
- 26 公正な事業慣行

TOP MESSAGE

持続可能な社会の確立を目指します

経済成長と環境保全を両立

局地的豪雨や大洪水、広域における大干ばつなど、世界各地で地球温暖化の影響といわれる異常気象が頻繁に起こっています。また新興国の経済発展に伴って、エネルギー・資源の不足なども、さらに懸念されるようになりました。これらによって、長い時間かけて築かれた社会が、いつも簡単に破壊されるさまを目の当たりにし、私たちは今、改めて「持続可能な社会」の重要性を認識するようになりました。

今年6月にブラジルで開催された「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」では、経済成長を目指すだけでなく、環境保全との両立を目指す「グリーン経済」を提唱した成果文書が採択されました。その文書には持続可能な発展のために「グリーン経済」が重要な手段であると記されています。

当社は、「木を活かし、よりよい暮らしを」という基本理念のもと、持続可能な社会の確立を目指してまいりました。当社はこの理念に則り、「持続可能な森林の木を使う」「木を無駄なく使う」「木を循環させて使う」という3つの循環の輪に沿って事業を展開する「環境創造型事業」を通じて、持続可能な社会づくりにつながるよう取り組んでまいります。

超高齢社会への対応はメーカーの責務

わが国は超高齢社会を迎え、特に加齢による身体機能低下が懸念されるシニアの世代の方々は、屋内における転倒、転落事故をきっかけに、ともすれば「寝たきり」となる危険が常につきまとっています。日常生活の中で家族全員が安心、安全に暮らしたいというニーズが、ますます高まる傾向を示すなか、当社は昨年度シニア世代向けの「セーフケアプラス」製品群を発売いたしました。「セーフケアプラス」製品群は、住まいの中での様々な場面を想定し、転倒してもその衝撃を和らげるフローリング「セーフケアダイレクト」をはじめ、キッチン、洗面、吊り戸、中休み階段、手摺など、居住者の安全性に配慮した製品で構成されています。政府の見通しによれば、世帯主が65歳以上の世帯数は、1,570万世帯(2010年)から1,900万世帯(2030年)へ330万世帯も増加すると予測されており、安心、安全、そして快適に暮らせる住まいづくりは、メーカーである私たちの大きな社会的責務であると受け止めています。この責務を全うするため、当社はさらに研究を重ね、「セーフケアプラス」製品群の充実を図るとともに、よりよい製品づくりに邁進してまいります。

吉川 康長
代表取締役会長



大道 正人
代表取締役社長



会社概要

社名	永大産業株式会社(Eidai Co., Ltd.)
創立	1946年7月29日
本社所在地	大阪市住之江区平林南2丁目10番60号
資本金	32億8530万円(2012年3月末現在)
従業員数	1,030名(2012年3月末現在)
製造拠点	大阪、敦賀、山口
営業拠点	東京、名古屋、大阪ほか全国41箇所
事業内容	住宅資材および木質ボードの製造・販売
上場	東京証券取引所 市場第一部(証券コード:7822)
グループ会社	永大小名浜株式会社(福島県いわき市) Eidai Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム国ハナム省) 永大スタッフサービス株式会社(大阪市) 永大テクノサポート株式会社(大阪市) エヌ・アンド・イー株式会社(徳島県小松島市)

空気環境にも配慮したものづくり

当社では、昨今の消費者の健康志向の高まりを受け、目に見えない空気環境に配慮した製品づくりも進めてまいりました。

それが昨年発売したシステムキッチン「ラフィーナ エアプラス」です。住宅の高気密化に伴い、シックハウス症候群や化学物質過敏症が大きな社会問題となった結果、消費者の健康や安全性を重視した低VOCへの取り組みが行われてきました。当社では新製品を開発するにあたり、この取り組みをさらに推し進め、まず生活の中心となっているLDKから、安全な空気環境とすることにしました。

このキッチンはキャビネットなどの主要部材に、当社が世界で初めて実用化に成功した超低ホルムパーティクルボード「リラックス」を用いました。これは、日本工業規格(JIS)の最高等級であるF☆☆☆☆の性能を大きく上回るパーティクルボードで、ホルムアルデヒドの放散量をほぼゼロに近づけた点が大きな特徴です。また、カップボードの主要部材についても同様に「リラックス」を用いて、キッチン全体の「空気環境配慮仕様」を実現しました。

当社は今後、システムキッチンや洗面台など素材開発から製品に至るまで「空気環境配慮仕様」をさらに推し進めてまいります。

環境に配慮した製品で社会貢献

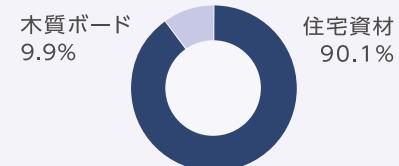
持続可能な社会を構築する上で、住まいづくりに携わるメーカーは、環境に配慮した製品の開発が不可欠です。当社は、持続可能な森林資源である森林認証材を原材料にフローリングを生産し、また廃木材を活用してパーティクルボードを生産してきました。

さらに国土保全や地球温暖化防止を目的に、我が国の森林を活性化させようという動きが顕著となるなか、当社でも国産材を活かした製品を開発することで、社会に貢献していきたいと考えています。

当社が業界に先駆けて、環境に配慮した製品を開発できた背景には、パーティクルボードなどの素材から最終製品まで、一貫生産体制を早期に確立したことが挙げられます。さらに、この体制を通じて当社は、新しいものづくりのための技術力やノウハウを培ってまいりました。これらを活かし、住まいに役立つ製品を新たに生み出すことが、当社に課せられた大きな責任であると考えています。

当社はこの責任を全うし、持続可能な社会づくりに邁進することにより、今後も社会から求められる企業を目指してまいります。

事業別売上比(連結)



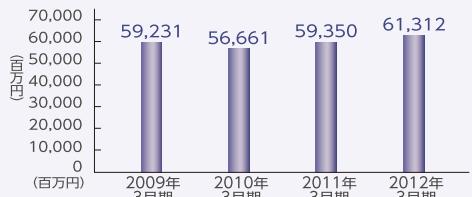
売上高(連結)



経常利益(連結)



総資産(連結)



製造拠点

- 大阪事業所(大阪府堺市)
室内ドア・クロゼット・システム造作材・システムキッチン
- 敦賀事業所(福井県敦賀市)
フローリング・一体型床暖房・室内階段セット・パーティクルボード
- 山口・平生事業所(山口県熊毛郡平生町)
フローリング・パーティクルボード
- [グループ会社]
 - 永大小名浜(株)(福島県いわき市)
室内ドア・クロゼット・システム造作材・室内階段セット・パーティクルボード
 - Eidai Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム国ハナム省)
フローリング
 - エヌ・アンド・イー(株)(徳島県小松島市)
MDF

営業所

札幌、青森、盛岡、仙台、山形、福島、新潟、宇都宮、茨城、群馬、埼玉、千葉、柏、東京、東京西、相模原、横浜、山梨、長野、金沢、静岡、名古屋、三重、京都、大阪、神戸、姫路、岡山、広島、米子、山口、高松、松山、北九州、福岡、長崎、熊本、鹿児島、沖縄

ショールーム

札幌、仙台、新宿、立川、新潟、金沢、静岡、名古屋、京都、梅田、岡山、広島、博多、沖縄

事業紹介

より豊かな住まいづくりを目指しています

永大産業では、自然素材である木を活かし、暮らしに役立つ様々な製品を開発、供給することで、より豊かな住まいづくりの実現を目指しています。

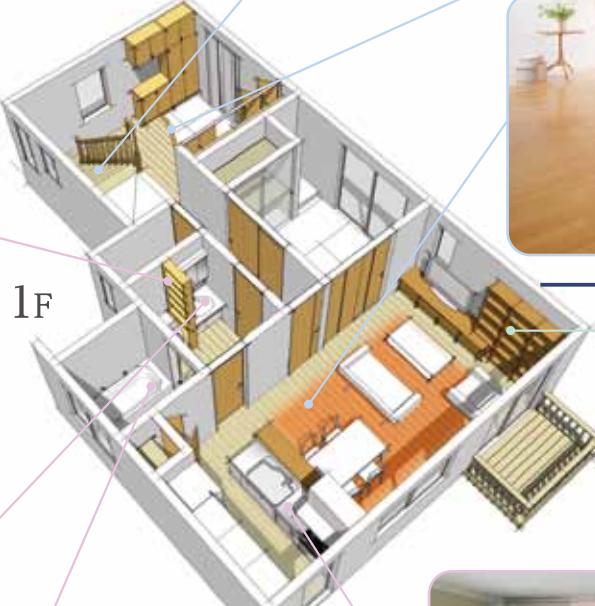
フローリング・室内階段

素材を厳選し、
環境に配慮した製品を開発しています。

持続可能な森林資源を活用し、環境に配慮したフローリングや室内階段セットなどの製品を開発、生産しています。中高層市場向けの遮音フローリングや床暖房をはじめ、安心・安全で施工性に優れた高機能製品の品揃えを図っています。

建材事業部

取扱製品
フローリング、一体型床暖房、壁材、エクステリア部材、
室内階段セット、室内階段廻り部材



システムキッチン・サニタリー・バス

美しく機能性に富む水まわり製品を
供給しています。

超低ホルムパーティクルボードの採用で、空気環境に配慮したシステムキッチンをはじめ、美しく、機能性に富む水まわり製品を供給しています。



住設事業部

取扱製品
システムキッチン、洗面台、システムバス

室内ドア・造作材・収納

最先端のデザインを製品に反映させるとともに、短納期を実現しています。

常に次のトレンドを意識し、最新のデザインを室内ドアやクロゼット、シューズボックスなどの製品に取り入れています。また、見積りから納品まで一貫したシステムを構築することで、短納期を実現しています。

内装システム 事業部

取扱製品
室内ドア、システム造作材、カウンター、クロゼット、
シューズボックス、システム収納



パーティクルボード

不用になった木質製品と未利用材を活用し、木材資源の有効利用を推進しています。

不用になった木質製品を焼却せず、マテリアルリサイクルを行い、炭素を固定化することで二酸化炭素の発生を抑制し、環境保全に寄与しています。さらに超低ホルムパーティクルボードの生産も行っています。

パーティクルボード 事業部

取扱製品
パーティクルボード、MDF



POINT

シューズボックスやシステムキッチンなどに使用する化粧パーティクルボードは、表面に化粧紙を用いていますので、そのまま原材料として再利用できます。

超高齢社会に対応したものづくり

シニア世代のための「セーフケアプラス」製品群

超高齢社会を迎えたわが国では、シニア世代がより安心、安全に暮らせるような住まいが求められています。

永大産業は、このような社会構造の変化に対応した製品の開発に取り組み、

シニア世代のための製品群「セーフケアプラス」を開発しました。

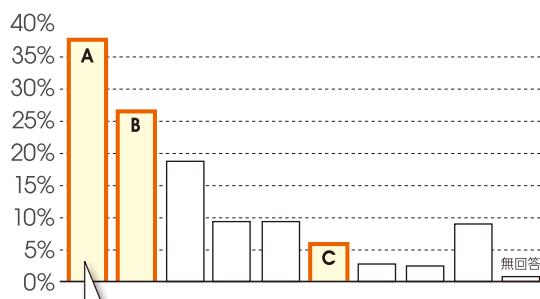
住まいの 問題点

シニア世代の多くが、現在の住宅に住み続けたいと考えていますが、ケガの過半はその住宅内で起こっています

約70%が終の住みかに 「我が家」を希望

内閣府が平成22年度に行った調査によると、加齢により身体の機能が衰えた場合、「現在の住宅にそのまま住み続けたい」あるいは「現在の住宅を改造し住みやすくする」など、「我が家」を終の住みかにしたいという回答が約70%を占めていました。

■虚弱化したときに望む居住形態(複数回答 N=2,062)
※平成22年度「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査(内閣府)」より

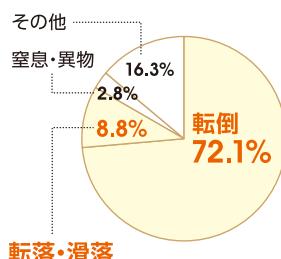


- A 37.1% 現在の住宅にそのまま住み続けたい
 - B 26.7% 現在の住宅を改造し住みやすくする
 - 19.0% 介護を受けられる公的な施設に入居する
 - 9.7% ケア付き住宅に入居する
 - 9.7% 介護を受けられる民間の施設に入居する
 - C 5.7% 子供等の家に移り世話をもらう
 - 2.7% 民間のケア付き住宅に入居する
 - 2.5% その他
 - 9.2% わからない
- 「我が家」派 約70%**

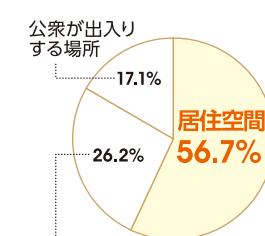
シニア世代のケガの原因の約80%が 「転倒、転落、滑落」

「火災と日常生活事故のデータからみる高齢者の実態」(平成22年版、東京消防庁)によると、シニア世代のケガの原因の約80%は「転倒、転落、滑落」によるもので、その発生場所の過半数が、日常生活をおくっている居住空間でした。

■ケガの原因 (N=46,049)



■ケガの発生場所 (N=37,230)



安心して年齢を重ねていける住まいづくりが必要です

住宅を 新築する場合

加齢による
身体機能の低下に備えて、
今のうちに住み続けられる
工夫が必要です。



住宅を リフォームする場合

快適な住まいとなるように
バリアフリー化を行って、
家族全員が安心して暮らせるように
することが重要です。



永大産業
からの
ご提案

永大産業は様々な生活の場面を想定し、 快適で安全性に配慮した製品群を取り揃えました

セーフケアプラス

■吊り戸



開閉がしやすく、段差のない構造

■グリップ手摺



立ち座り時の姿勢等を、
安全に保持

■衝撃吸収フローリング 「セーフケアダイレクト」



転倒の衝撃を和らげ、重大事故を防止

■中休み階段



■キッチン



座ったままでも楽に調理可能



■洗面

座ったままでも洗髪可能



昇降時の負担軽減と安全性に配慮

安全・安心・快適を徹底的に追求

「セーフケアプラス」製品群は、年齢を重ねても、我が家で暮らし続けたいと望むシニアの方々と、その家族のニーズに応えた製品です。転倒時の衝撃を和らげる木質フローリングをはじめ、開閉しやすい吊り戸、中休みができる階段、握りやすい手摺などをラインアップし、住まいにおける安全・安心・快適を徹底的に追求しました。



VOICE

従業員の声

社会のニーズを取り入れた製品を開発

今後ますます少子高齢化が進むなか、家族の誰もが安心して暮らせる目的に開発したのが「セーフケアプラス」製品群です。よりよい住まいづくりに寄与するため、当社はこれからも社会のニーズを取り入れた製品を開発していきます。



総合研究所
大谷 優

空気環境への配慮

健康志向の高まりに対応した製品づくり

室内における空気汚染は、シックハウス症候群や化学物質過敏症という健康被害を引き起こし、大きな社会問題にまで発展しました。永大産業はお客様の健康に配慮し、化学物質の放散を抑制した素材や、それを用いた製品の開発に取り組んでいます。

空気環境に最大限配慮した素材を開発

永大産業では目に見えない住空間における空気環境に対する配慮を、製品開発の大きなテーマに掲げています。当社では素材の段階から、より安全性の高い製品づくりを目指し、空気環境に配慮したパーティクルボード「リラックス」を開発しました。



[リラックスの特長]

特長 1 ホルムアルデヒド放散量を極限まで抑制

「リラックス」はホルムアルデヒド放散量を、ほぼゼロに近づけたパーティクルボードです。当社が世界で初めて実用化に成功し、ホルムアルデヒドの放散については、JIS(日本工業規格)の最高等級であるF☆☆☆☆の性能を大きく上回ります。

建築基準法の最高等級(0.3mg/L)に対し

はるかに下回る
**日本で唯一
0.04mg/L.**

特長 3 生産時に13の化学物質を不使用

「リラックス」は、厚生労働省「室内空気汚染に関するガイドライン」で指定されている13の化学物質を、生産時に全く使用していません。

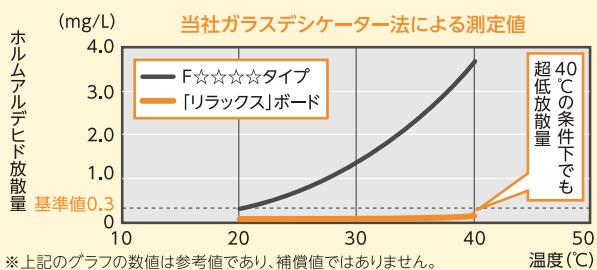
- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. ホルムアルデヒド | 8. テトラデカン |
| 2. トルエン | 9. フタル酸ジ-2-エチルヘキシル |
| 3. キシレン | 10. ダイアジノン |
| 4. エチルベンゼン | 11. アセトアルデヒド |
| 5. スチレン | 12. フェノブカルブ |
| 6. パラジクロルベンゼン | 13. クロルピリホス |
| 7. フタル酸ジ-n-ブチル | |

厚生労働大臣指定の 化学物質ゼロへ

特長 2 高温下でも放散量はごく微量

一般に温度が上昇すると、基材に含まれるホルムアルデヒドの放散量は増加しますが、「リラックス」は、温度上昇に関係なく、空気中へのホルムアルデヒドの放散を抑制します。

高温下でも超低放散量



VOC(Volatile Organic Compound:揮発性有機化合物)とは内装材や家具などから出る揮発性物質の総称。これらが原因で空気が汚染され、シックハウス症候群や化学物質過敏症を引き起こすとされている。



● 様々な場所で活用される空気環境に配慮したパーティクルボード



健康の回復を願う方々が集まる病院や、成長段階にある児童が1日の多くの時間を過ごす学校、さらに加齢によって抵抗力の低下したシニアの方々が過ごす高齢者向け施設などには、より一層、室内の空気環境に対して配慮が必要です。また、快適に働くためのオフィスや、不特定多数の人々が出入りする店舗なども、安全な空気環境であることが不可欠です。

当社の空気環境に配慮したパーティクルボードは、このような社会的ニーズに対応して、様々な場所で活用されています。

当社の山口・平生事業所にほど近い平生町立平生小学校では、当社の空気環境に配慮したパーティクルボードが、教室の背面ロッカーのほか、理科室などの収納のキャビネットに利用されています。

● 素材から製品まで幅広く展開

当社は住まいに求められる様々な製品を生産しており、素材の開発から製品への応用まで、貫いた生産体制を確立し、幅広く展開しています。当社ではより安心、快適な住まいづくりを目指して、空気環境に配慮した素材を用いた「空気環境配慮仕様」の製品開発に力を入れています。



当社は、業界で初めて主要部材に空気環境に配慮した素材を用いて、システムキッチン「ラフィーナ エアプラス」を開発しました。さらにカップボード等にも同様の素材を用いて、キッチン空間全体で「空気環境配慮仕様」としています。今後発売するシステムキッチン、洗面台などは、全て「空気環境配慮仕様」とする予定です。





環境 ENVIRONMENT

環境方針

永大産業では、環境に配慮し、持続可能な社会の実現に寄与するため、環境方針を定めています。当社の環境方針は「基本方針」と「行動指針」から構成され、「行動指針」には、とくに注力すべき具体的活動の内容について明示しています。

= 基本方針 =

永大産業は、地球、社会、人との共生を通じて、
環境保全に取り組み、
なお一層の社会貢献を目指します。

行動指針

1 企業活動

1



温室効果ガス削減

エネルギー、水資源を有効に活用し、温室効果ガス排出量の削減に努めます。

2



3Rの推進

Reduce(発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再利用)の3Rを推進し、循環型社会の発展に寄与します。

3



化学物質の管理・抑制

管理基準を設定し、環境負荷の大きな物質の使用・排出を抑制します。

4



環境に配慮した 木材調達

森林認証材、中でも植林木を積極的に採用し、環境に配慮した資材の比率を高めます。

■環境配慮木材

PB(パーティクルボード)



廃木材を再資源化したボード

MDF



森林認証材



持続可能な森林経営によることが
認証された木材

未利用材

集成材

そのままでは利用できず廃棄されていた
木材・端材

二次利用木材

ゴム・コルク

主目的として木材利用を意図していない材料

国産材

活用により国内の森林保全につながる木材

リサイクル材

製品の端材等を再利用した木質材料

2 社会的責任

法令を遵守し、地域との連携を深め、
広く社会から評価される企業を目指します。

3 情報の開示

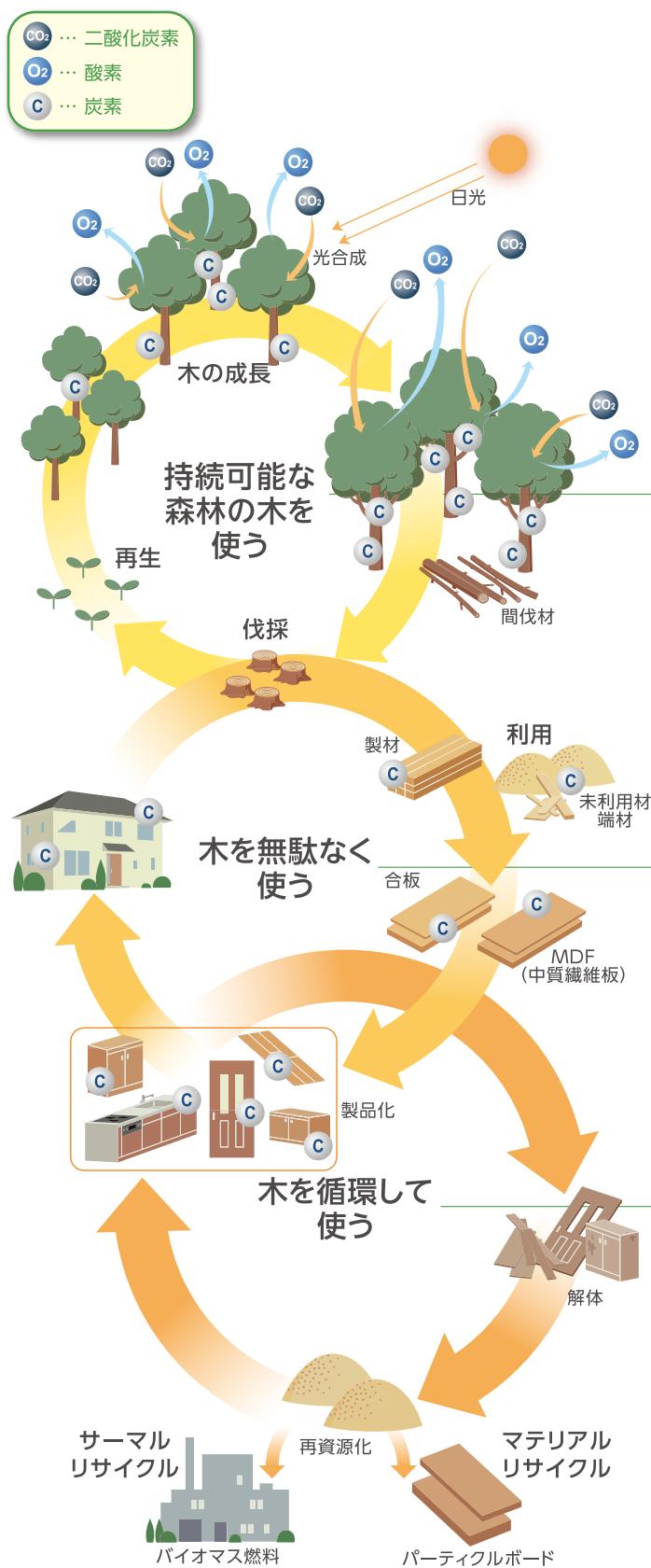
企業活動に関する情報は隨時、開示します。

木を活かした環境保全への取り組み

「木」は地球にやさしい資源です
永大産業は、木を活かした
循環の輪を広げていきます

「木」は再生できる地球上にやさしい資源です。「木」の有効利用を図るには、「持続可能な森林の木を使う」「木を無駄なく使う」「木を循環させて使う」ことが重要です。当社はこの「3つの循環の輪」に沿って事業を展開することにより、なお一層、地球環境の保全に取り組んでいきたいと考えています。

3つの循環の輪



年間12万トンの炭素を固定

低炭素社会の構築には、CO₂(二酸化炭素)の抑制が重要です。循環可能な生物資源である木は、大気中のCO₂(二酸化炭素)を取り込んで、C(炭素)を固定しながら成長していきます。しかし、自然に木が枯れると、固定されていたC(炭素)がO₂(酸素)と結びつき、再びCO₂(二酸化炭素)となって排出されてしまいます。

このような木のもつ働きに着目して、住宅に多く木製品を使用すれば、それだけ長期間にわたり固定できるC(炭素)の量も増えることになります。

永大産業は環境配慮木材を用いた木製品の供給を通じて、12万トン(2011年度)の炭素を固定しました。これは44万トンの二酸化炭素の排出を抑制したことになります。

持続可能な森林の木を使う

貴重な森林資源を継続的に利用するため、永大産業は製品の原材料に、森林認証材や間伐材、適切に管理された植林木などを積極的に採用しています。当社は持続可能な森林の木を使うことにより、森林環境の保護に貢献しています。

木を無駄なく使う

木材資源を無駄なく利用するため、永大産業は未利用材や木製品の生産工程で生じる端材を、木質ボードの原材料に活用しています。またこの木質ボードを用いて製品化を行っています。

木を循環させて使う

不用になった木質製品を再資源化するため、永大産業ではこのような製品から木質ボードを生産し、さらにその木質ボードを利用して製品を生産しています。また、バイオマス燃料に利用して、再生可能エネルギーを創出しています。

地球温暖化防止への取り組み



より一層、温室効果ガスの削減に努めます

● 基準年度比28%の温室効果ガスを削減

2006年度から2010年度までは、順調に温室効果ガスを削減しましたが、2011年度は東日本大震災の復興に伴う増産が影響し、温室効果ガスは前年比で12%増加しました。それでも2011年度までに、2006年度比13%の温室効果ガスを削減するという当初の目標は達成し、最終的に2006年度比で28%の温室効果ガスを削減しました。

温室効果ガス排出量 推移一覧表

部門	基準年度 2006年度	2010年度	2011年度	前年度比	基準年度比
製 造	大阪	2,086	2,026	2,263	+12%
	敦賀	23,350	15,071	17,330	+15%
	山口	33,376	16,810	20,556	+22%
3製造拠点合計		58,812	33,907	40,149	+18%
物流		22,115	17,746	18,205	+3%
営業		2,041	1,458	1,302	-11%
本社		1,200	922	922	+4%
合計		84,168	54,033	60,618	+12%
(単位 : t -CO ₂)					

製造部門別の電力使用量と温室効果ガス排出量

製造部門で、最も多く消費するエネルギーは電力です。永大産業では電力の消費に伴う温室効果ガスの排出量を、各電力会社が年度ごとに公表する「実排出係数」を用いて算出しています。2011年度は増産によるエネルギー使用量の増加に加えて、「実排出係数」の数値が前年度よりも大きくなつたため、電力の消費に伴う温室効果ガスの排出量は最終的に、前年度比16%増加しました。

部門	種別	基準年度 2006年度	2010年度	2011年度	前年度比	基準年度比
大阪	電力使用量	5,499	6,460	6,884	+7%	+25%
	排出係数	0.358	0.294	0.311		
	排出量	1,969	1,899	2,141	+13%	+9%
敦賀	電力使用量	37,052	29,140	29,779	+2%	-21%
	排出係数	0.407	0.374	0.423		
	排出量	15,080	10,898	12,596	+16%	-16%
山口	電力使用量	30,676	20,206	20,315	+1%	-34%
	排出係数	0.668	0.628	0.728		
	排出量	20,491	12,689	14,789	+17%	-28%
電力使用量合計		73,227	55,806	56,978	+2%	-23%
排出量合計		37,540	25,486	29,527	+16%	-21%

※温室効果ガスを算出するあたり、電力の換算係数は2006年度、2010年度、2011年度とも管内電力会社の実排出係数を利用

単位／(電力使用量:千kwh) (排出係数:t-CO₂/千kwh) (排出量:t-CO₂)

実排出係数

電力事業者の活動(発電)に伴って排出される温室効果ガス(CO₂)を算定するために用いる係数をいう。電力事業者が火力、水力、原子力などの発電方法のうち、年度ごとにどのような比率で発電しているかによって、係数の値も変わる。

用語解説

調整後排出係数

電力事業者が、国や団体が行っている温室効果ガス(CO₂)の排出量取引などに基づき排出量を購入することで、実排出係数から一定量の排出量を控除した係数をいう。

● さらなる省エネを目指します

東日本大震災をきっかけに、複数の原子力発電所が操業を停止したことによって、電力不足が大きな問題となりました。当社では、製造部門だけでなく、営業部門、管理部門など全社を挙げて節電に取り組みました。今後もあらゆる方法でエネルギーの使用抑制に努め、さらなる省エネを目指します。

温室効果ガスの算出方法について

電力使用による温室効果ガスは、全て各電力会社の「実排出係数」を用いて算出しています。



節電に努め効率的な生産を目指します

山口・平生事業所では大型の生産設備を何台も稼動させてています。このような設備はメンテナンスによって、

電気エネルギーの消費に大きな差が生じるため、緻密な点検、補修作業を行っています。今後も節電に努め、効率的な生産を目指すとともに、作業の省力化を図るために、ライン設計を心がけたいと思います。

山口生産管理部 生産技術課

高石 一輝



リサイクル活動の推進

木を活かし、リサイクル活動を展開しています

サーマルリサイクル 「バイオマス発電／バイオマスボイラー」

● 再生可能エネルギーを創出し、 生産に使用するエネルギーの一部をまかなっています

わが国では、これからのエネルギーのあり方が見直されており、環境への負荷が低く再生可能なエネルギーに注目が集まっています。当社では木を活かすリサイクル活動の中で、バイオマス燃料による再生可能なエネルギーの創出と、その有効利用に力を入れています。山口・平生事業所では2011年度、所内で使用する電力の26%をバイオマス発電でまかないました。また敦賀事業所では、パーティクルボードの生産に必要な蒸気エネルギーを得るため、ボイラーにバイオマス燃料を使用しています。



バイオマス発電所(山口・平生事業所)



バイオマスボイラー(敦賀事業所)



マテリアルリサイクル 「パーティクルボード」

● 不用になった木質製品でパーティクルボードを生産し、 循環型社会の形成に寄与しています

木は焼却しない限り、炭素を固定し続ける効果があります。永大産業では、そのような木のもつ機能を重視するとともに、不用になった木質製品も大切な資源であるとの考え方から、まずマテリアルリサイクル(再生利用)を行うべきとの立場を貫いています。その意味でパーティクルボードは低炭素社会の構築に不可欠な素材であるといえます。

また当社の化粧パーティクルボードには、耐傷性、耐汚染性に優れた強化紙を使用しています。

化粧パーティクルボードのなかには、マテリアルリサイクルができないものもありますが、当社の製品はそのまま原材料に還元することができます。このように当社では原材料の段階から廃棄・回収までを視野に入れた研究開発を行っています。



VOICE
従業員の声

国産材の利用を推進

森林を活性化させ、地球温暖化を防止するためには、さらなる国産材の利用が必要となっています。当社は顧客からのニーズに対応し、現在、特定の地域の国産材チップを活用してパーティクルボードを生産する取り組みを行っています。また品質の向上を目的に、さらなる技術開発にも力を入れています。

パーティクルボード事業部 大阪営業課
上月 雅史

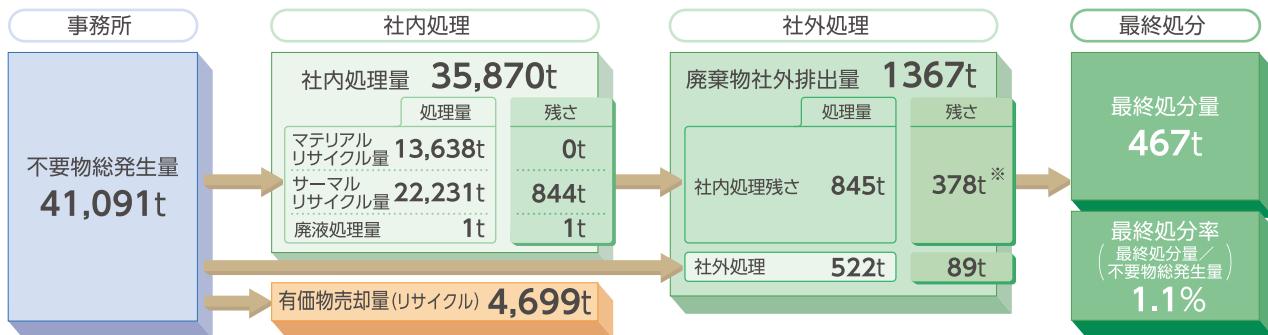
産業廃棄物削減への取り組み



資源の有効活用を図り、再資源化に努めています

ゼロエミッション

永大産業では、資源の有効活用を図り、再資源化に努めることによって、環境負荷の低減に取り組んでいます。



廃棄物を再利用*

山口・平生事業所では、ボイラから排出されるばいじんの最終処分量を減らすため、外部のリサイクル業者と協力して、コンクリートの原材料にばいじんを再利用する仕組みをつくりました。これによって山口・平生事業所の最終処分量は、前年度よりも80%削減することができました。

「ゼロエミッション(Zero Emission)」とは、使用する資源を最小限にとどめ、なつかつ事業活動を通じて排出される廃棄物などを、再資源化して活用し、全体として廃棄物を出さない生産のあり方を目指すものです。一般的に製造業では、最終処分率を2%以下にすることが目安となっており、永大産業の2011年度最終処分率は1.1%でした。

分別活動を徹底

大阪事業所では廃棄物の量を削減するため、分別活動を行っています。所内のリサイクルセンターでは生産活動によって排出された廃棄物を、木材・木質ボードの端材、ビニール、プラスチック、紙、金属など全部で25品目に分別し、再資源化または有価物としての利用を推進しています。



大阪事業所 リサイクルセンター(分別施設)



リサイクル資源の分別・有効活用を徹底しています。

回収された廃棄物は25品目に分別されます。

(廃プラ4・紙類10・ペットボトル・電線・アルミ・ステンレスなど)

VOICE
従業員の声

分別活動の取り組みを継続

廃棄物の中には、適切な分別を行えば、再び資源として再利用できるものがあります。廃棄物の量を減らし、地球環境を保全するための社会的な責任の一つとして、今後も廃棄物の分別活動への取り組みを継続していくきたいと思います。

大阪生産管理部 総務課
谷口 真理

用語解説

産業廃棄物

建設業、製造業、サービス業など全ての事業活動に伴って生じた廃棄物を指し、汚泥や廃油など20種類と、輸入された廃棄物がある。

環境マネジメントシステム

ISO14001に基づき、環境負荷を低減

●全ての製造拠点のISO14001を統合

永大産業では、環境保全活動を推し進めるため、環境マネジメントシステム(Environmental Management System=EMS)の国際規格であるISO14001に基づき、環境負荷の低減に取り組んでいます。生産拠点の連携を図り、継続的な改善を行っていくため、当社は昨年度、3事業所で個別に取得していたISO14001の認証を統合しました。



大阪事業所



- 認証取得日：2003年10月31日
- 適用規格：JISQ 14001:2004 / ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E094
- 製品
 - 室内ドア •クロゼット •システム造作材
 - シーブボックス •システムキッチン
- 住所：大阪府堺市



敦賀事業所



- 認証取得日：2000年2月29日
- 適用規格：JISQ 14001:2004 / ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E094
- 製品
 - フローリング •一体型床暖房 •室内階段セット
 - パーティクルボード
- 住所：福井県敦賀市



山口・平生事業所



- 認証取得日：2001年12月20日
- 適用規格：JISQ 14001:2004 / ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E094
- 製品
 - フローリング •パーティクルボード
- 住所：山口県熊毛郡平生町

■グループ会社

永大小名浜株式会社



- 認証取得日：2006年3月25日
- 適用規格：JISQ14001:2004/ISO14001:2004
- 登録番号：RE0466
- 製品
 - 室内ドア •クロゼット •システム造作材 •室内階段セット
 - パーティクルボード
- 所在地：福島県いわき市

エヌ・アンド・イー株式会社



- 認証取得日：2012年4月28日
- 適用規格：JISQ14001:2004/ISO14001:2004
- 登録番号：RE0659
- 製品
 - MDF
- 所在地：徳島県小松島市

マテリアルバランス 環境会計

マテリアルバランス

永大産業は、購入電力やB・C重油などの各種エネルギーを消費して(INPUT)、製品を生産し、温室効果ガス、廃棄物を排出します(OUTPUT)。当社は資源やエネルギーを有効活用するとともに、可能な限り温室効果ガス、廃棄物の抑制に努めています。

INPUT

製造

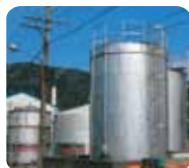
エネルギー

購入電力	56.9 _{千MWh}	前年度比 2.1%増
B・C重油	3,158 _{kL}	前年度比 30.4%増
LPG、軽油等	17,5 _{千GJ}	前年度比 0.7%増

水

204 _{千m³}

上水	183 _{千m³}	前年度比 4.3%増
工業用水	16 _{千m³}	前年度比 22.7%減
地下水	5 _{千m³}	前年度比 45.9%増



資材



研究開発



環境会計

研究開発活動	環境保全コスト 124	(単位:百万円) 経済効果 0
--------	----------------	-----------------------

生産



大阪事業所

敦賀事業所

山口・平生事業所

環境会計

全社的な環境保全活動を行うとともに、より効果的な環境経営を目指す目的から、環境会計で環境保全コスト、および経済効果を算出しています。

分類	主な取組の内容	環境保全コスト
事業エリア内活動	公害防止	77
	水質汚濁防止	15
	その他	1
	地球温暖化防止及び省エネルギー	60
資源循環	歩留改善による資源利用効率の向上	
	水資源の効率的利用	
	廃棄物のリサイクル	
	廃棄物の適正処分	173
小計		326
上・下流域活動	グリーン調達(CoC認証材の調達など)	
	サプライヤーの環境管理活動支援	
	環境に配慮した製品の提供	
	省資源型製品梱包材及びリサイクル梱包材の利用	29
小計		29
管理活動	環境マネジメントシステムの整備・運用	
	事業所の緑化、周辺地域の美化活動	20
小計		20
研究開発活動	環境負荷の低い素材を使用した製品の開発	
	CoC認証材や国産木材を活用した製品の開発	
	製品リサイクル性向上の研究・開発	
	製造段階におけるVOC低減化の研究	135
小計		135
環境損傷対応	水質関連補償金	3
小計		3
合計		513

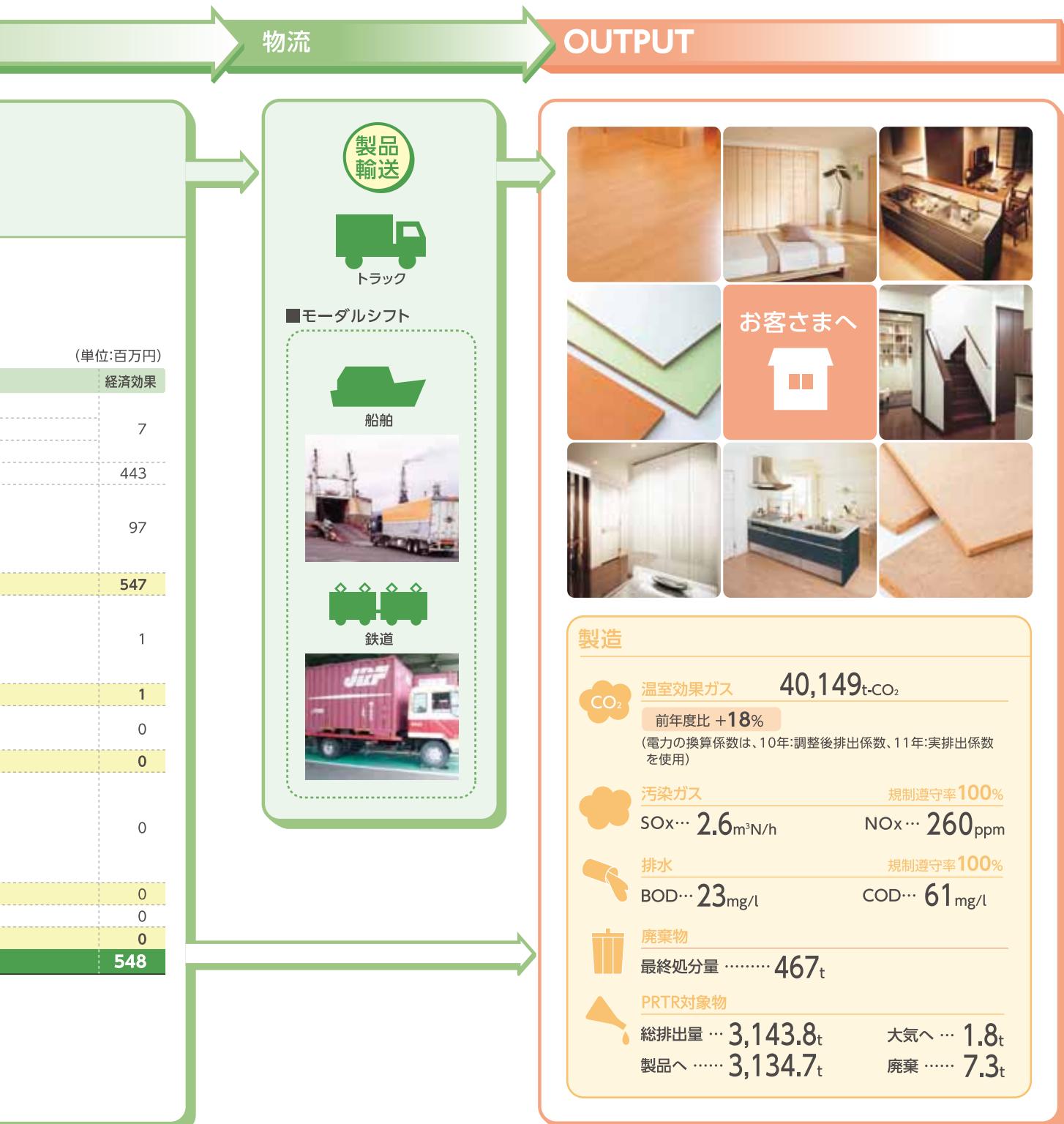
- 集計範囲:大阪事業所、敦賀事業所、山口・平生事業所
- 2011年度の環境保全コストは全て費用額で計上しています
- 環境保全コストは5億1300万円、経済効果は5億4800万円でした
- 参考にしたガイドライン:環境会計ガイドライン2007(環境省)
- 対象期間:2011年4月1日～2012年3月31日
- 集計方法:社内自主算定方法に基づいて集計

用語解説

マテリアルバランス

企業が事業活動を行うために投入する資源・エネルギー量、および排出する環境負荷物質の量(廃棄物を含む)をあらわす。

MATERIAL BALANCE

**用語解説****環境会計** 事業活動における環境保全コストとその経済効果を、可能な限り定量的に測定し、伝達する仕組み。**PRTR** 化学物質が大気中に拡散、あるいは事業所の外に運び出される場合のデータを把握し、公表する仕組み。



社会 SOCIAL

お客様とともに

お客様からの電話相談にお応えするための「お客様相談センター」や、実際に製品をお確かめいただけるショールームを設置しています。

ショールーム

北海道から沖縄まで全国14カ所に設置したショールームでは、ご来場のお客様に直接製品を見て、触って、その機能を確かめていただこうと、体験できる展示を心がけています。大都市圏にあるショールームでは、豊富な製品知識をもつ専門スタッフが常駐し、お客様のご相談に対し、よりよいご提案を行っています。また大都市圏以外のショールームではサンプル、カタログなど様々な資料を取り揃えています。

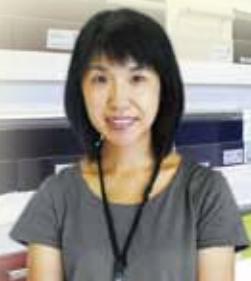


VOICE 従業員の声

お客様に最適の プランをご提案

ショールームでは、数々の製品サンプルをご用意し、お客様のライフスタイルや家族構成などに合わせて、最適なコーディネートやプランをご提案しています。これからもお客様と一緒に、理想的な住まいづくりに向けて、取り組んでいきたいと思います。

立川ショールーム
野崎 実里



お客様相談センター

「お客様相談センター」では、製品知識に長けたスタッフがお客様からのご相談に、迅速かつ丁寧に対応しています。また当センターでは、ご相談の内容を分析して業務改善につなげ、より一層、お客様満足の向上を図るとともに、お客様のご要望を取り入れた製品に改良していくため、情報を社内へ発信しています。

ホームページ

ホームページについては随時更新し、住まいに役立つ最新の情報をご提供しています。一般のお客様には、動画を用いて当社製品の特長をご説明するとともに、メンテナンスの方法についてもわかりやすく解説しています。またプロユーザー様には、製品のスペックや画像、施工・取扱い説明書などのほか、提案書作成に必要な情報をご用意しております。

0120-685-110

受付時間 平日9:00～19:00 土 9:00～18:00

休業日 年末年始・日祝

E-mail cs@eidai-sangyo.co.jp

<http://www.eidai.com>



品質管理

顧客満足度の高い製品づくりを目指しています。

お客様に安心・安全な製品をご提供するため、顧客満足度の高い製品づくりを目指しています。品質マネジメントシステムに基づいて品質の改善に努めるとともに、工場見学会を開催して、製造の現場をご紹介しています。

● 継続的な改善に取り組んでいます

お客様に安心してお使いいただける製品をご提供するため、品質マネジメントシステム(Quality Management System)の国際規格であるISO9001を全ての事業所で取得し、継続的な改善に取り組んでいます。

生産拠点	取得年月	番号
大阪事業所	2001年8月	
敦賀事業所	2001年7月	JMAQA-1090
山口・平生事業所	2005年4月	

※当社は昨年度、3事業所で個別に取得していたISO9001の認証を統合しました。



化学物質の管理・抑制



永大産業では、安全性の高い接着剤や塗料を使用しています

● 低ホルムアルデヒドへの取り組み



シックハウス症候群や、化学物質過敏症を引き起こさない安全な製品づくりを目指し、永大産業の製品はホルムアルデヒド発散等級の最上位規格(F☆☆☆☆)を取得しています。



● 4VOC基準適合の自主表示を実施



(木質建材)

空気汚染を引き起こすVOC(Volatile Organic Compound:揮発性有機化合物)のうち、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCについては、「4VOC基準適合」(木質建材)の自主表示を実施し、その情報を製品カタログ等でご案内しています。



● 低VOCへの取り組み



当社ではホルムアルデヒドと4VOCを含む13の化学物質について自主基準を設けています。厚生労働省の定める指針対象物質については製品安全データシート(MSDS)で不使用の確認を行い、さらにMSDSで確認ができない場合には、小型チャンバー法に準拠した測定方法を用いて確認しています。



正確なデータの
収集に努めます

消費者の健康志向の高まりから、近年測定期数が増加し、また、より一層厳密な測定が求められるようになってきました。安心できる製品をお届けするため、さらに管理を徹底し、正確なデータの収集に努める考えです。

総合研究所

今田 美穂

従業員とともに

安全で、働きやすい職場づくりに力を入れています

当社は従業員が安全に働く職場づくりに力を入れています。特に大きな機械設備を扱う事業所では、危険物や火の取り扱いを厳重に管理するとともに、万が一の場合に備え定期的に防災訓練を実施しています。また安全パトロールのほか、広く従業員から安全衛生のポスター、標語を募るなど啓蒙活動にも注力し、事故や災害を未然に防ぐ取り組みを行っています。

最高安全衛生委員会で社内事故を防止

全事業所の安全衛生向上を図るために、最高安全衛生委員会では、各事業所から安全衛生の担当者が集まって定期会合を開き、職場がより安全になるための情報交換を行うほか、生産現場における安全パトロールを実施しています。規模の大小に関わらず、災害が起こりそうになった場合(ヒヤリハット)、また実際に起こった場合には、事故原因を究明して現場検証を行い、対策を全社で水平展開することにより、同様の事故の再発を防ぐよう努めています。



救急救命講習会を実施

万が一の事態に備え、主に大型の設備を扱う機会の多い従業員を対象とした救急救命講習会を開催しています。講習会では専門知識をもった講師を招き、等身大の人形を用いた実習形式を取り入れています。実習では人工呼吸の方法や、心肺停止状態におちいった場合に、電気的刺激を与えて蘇生させる装置(=自動体外式除細動器、AED)の使い方、さらには三角巾による応急処置について学習しています。



安全管理に対する意識を向上

各事業所では、毎年7月の「全国安全週間」にあわせ、安全衛生をテーマとしたポスターや標語を部内から募集しています。集まった作品については優秀作品を表彰し、部内に掲示することで、従業員の安全管理に対する意識向上に努めています。



地域社会とともに

地域に貢献しつづける企業でありたいと考えています

各事業所では、地域に根ざし、ともに発展していくことを目的に、美化運動のほかスポーツを通じた交流など様々な活動を展開しています。

マラソンコースの清掃活動を実施

昨年10月に開催された大阪マラソンでは、コースの一部が永大産業本社ビルのある住之江区に設定されました。レース開始前に行われたコースの清掃活動に当社も参加し、レース当日のスムーズな運営に協力させていただきました。



平林祭りで地域を活性化

かつて木材の集積地として知られた平林地区(大阪市住之江区)では、毎年10月、多くの人に木のぬくもりを知ってもらおうと「平林祭り」が開催されています。永大産業はこの行事に参加し、イベント活動の支援を行って、地域の活性化に貢献しています。



地域行事の開催に協力

山口県熊毛郡平生町では、毎年8月に「ひらお十七夜まつり」が開催されています。山口・平生事業所では従業員が準備のための会合にも参加し、行事がさらに楽しく盛り上がるよう、地域の方々とともに協力し合っています。



駅伝競走大会に出場

山口・平生事業所のある平生町では、毎年秋に大きな行事である駅伝競走大会が開催されており、当事業所は地域振興に寄与するため、この大会に参加しています。





コーポレート・ガバナンス CORPORATE・GOVERNANCE

コンプライアンス

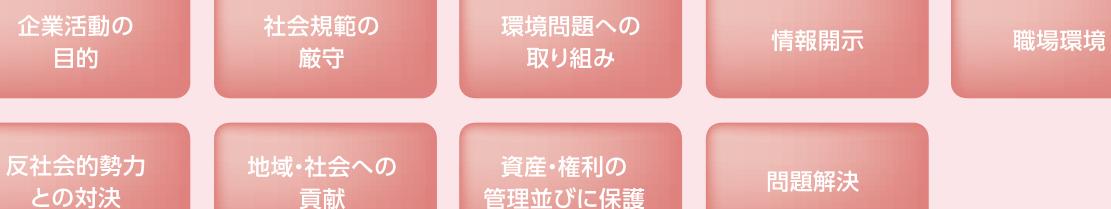
コンプライアンス（法令遵守）の強化に努めています

コンプライアンスとは「法令遵守」と訳され、法律を遵守することはもちろんのこと、社内の規程や企業倫理などの規範を守つて行動することとされています。永大産業のコンプライアンスは、このような法律や社内規程などの遵守にとどまらず、当社で働くすべての人々が、より高い倫理観・価値観を共有することを目指しています。

○ 永大産業企業行動憲章

コンプライアンスの一環として、2004年9月に制定した「永大産業企業行動憲章」は、当社が事業活動を継続する中で最低限遵守すべき事項として、社内はもとより社外にも公表し、

企業の社会的責任としてコンプライアンスに対する考え方や姿勢を宣言しています。

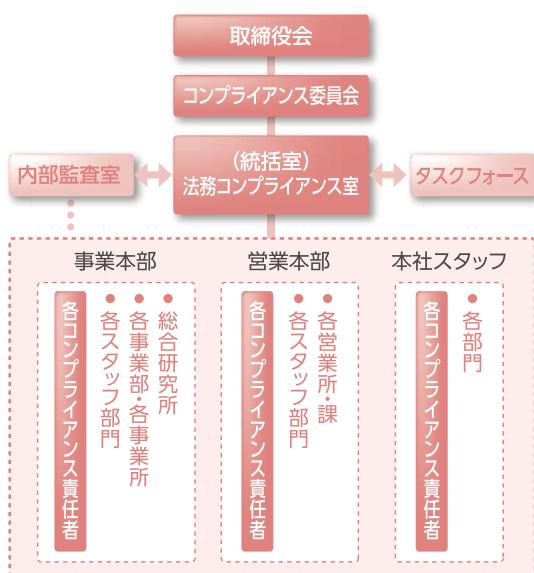


詳細は当社ホームページ「会社案内」の「企業行動憲章」の欄に記載しています

○ 全社一丸となってコンプライアンス活動を推進します

全社一丸となってコンプライアンス活動を推進するために制定した「コンプライアンス・マニュアル」には、役員及び従業員の役割のほか、組織体制やコンプライアンス意識高揚のための啓蒙活動についても定めており、「高い企業価値の創造」の実現を目指しています。コンプライアンス委員会は、横断的にコンプライアンスの具体的計画などの重要事項について協議を行います。また法務コンプライアンス室は、統括室として教育、助言などの全社的な取り組みを進めています。タスクフォースは同室に対して、実務面から調査、報告、提案を行い、コンプライアンス活動を進めるための組織体制を整備しています。

また、日常の事業活動の中で起こり得る事例を集め、判断のよりどころとする事例集を全社員に配布するなど、身近なところでも、コンプライアンスへの理解を深める取り組みを行っています。



コーポレート・ガバナンス

監査・監督機能を強化し経営活動の透明性に努めます

監査・監督機能を強化し経営活動の透明性に努めます。企業価値を高め、社会やさまざまなステークホルダーから信頼されるために、内部統制システムを含めたコーポレート・ガバナンス体制の充実が、経営の最重要課題であると考えています。

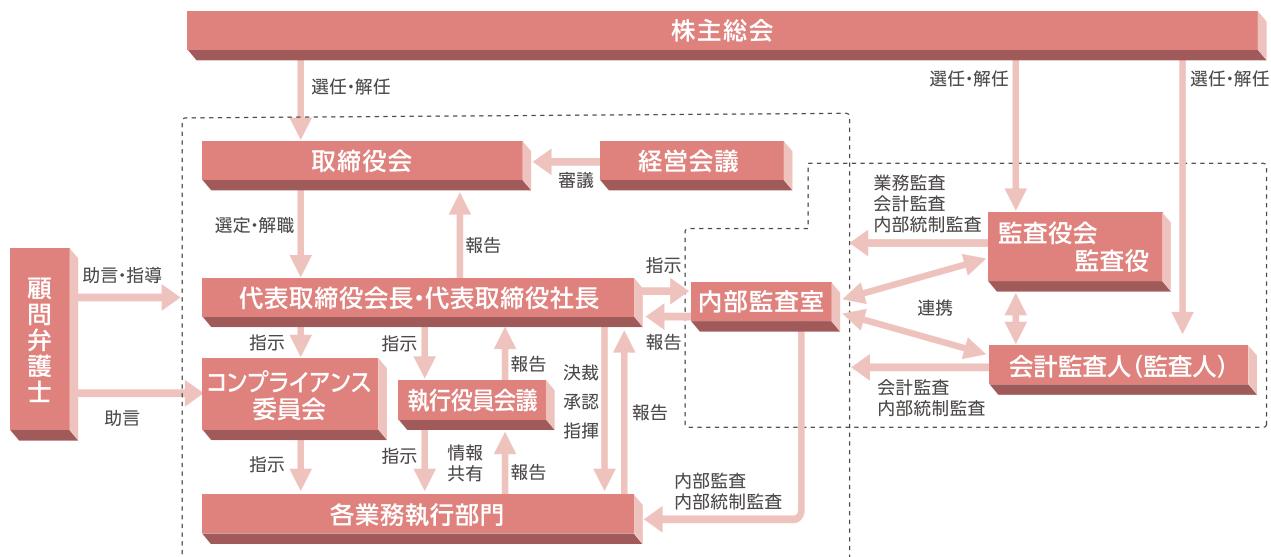
○ コーポレート・ガバナンス体制

コーポレート・ガバナンス体制の充実のために、経営監視機能の強化、経営効率の改善等に取り組むことで、企業価値の向上を目指しています。取締役の人気は1年とし、経営環境の変化に迅速に対応できる経営体制の構築を図るとともに、年度における取締役の経営責任をより一層明確化させ、株主総会での信任の機会を増

やし、株主による経営監視体制を強化しています。

また、取締役会には2名の社外監査役が出席し、専門的な視点や客観的な立場から必要に応じて意見を述べるなど、社外からの監視・監督が十分に機能する体制となっています。さらに、監査役は取締役会の他にも重要な会議に出席し、取締役の職務執行について厳正な監視を行っています。

■ コーポレート・ガバナンス及び内部統制の体制図



○ 内部統制システムの基本方針

内部統制システムの整備に関する基本的な考え方を「内部統制システム構築の基本方針」として、経営管理体制やリスク管理体制など10項目を定めています。

内部統制システム構築の基本方針

1. 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
2. 使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
3. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
4. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
5. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
6. 当社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制
7. 監査役の職務を補助すべき使用人に関する体制と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
8. 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制
その他の監査役への報告に関する体制
9. 監査役の監査が実効的に行われるることを確保するための体制
10. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及び体制の整備状況

リスクマネジメント

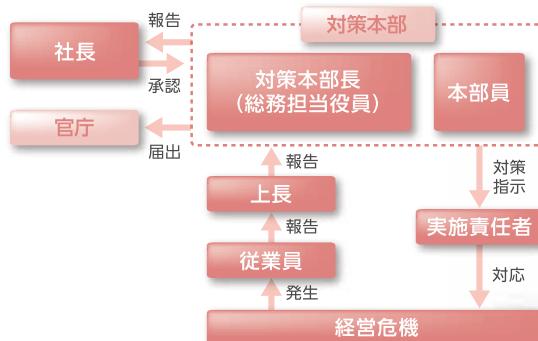
さまざまなリスクに対する危機管理体制の強化を図っています

○ 経営危機管理

当社では、リスク管理意識の向上に取り組んでおり、経営危機発生の回避、リスクの未然の防止、経営危機発生時の損失の最小化を期すため、「経営危機管理規程」を定めて対応しています。

この規程ではすべての従業員は常に経営危機につながる事象の発生防止に努め、これらの発生に対し万全の注意を払わねばならないとしています。万一、経営危機が発生した際には、直ちに対策本部を設置して危機の解決もしくは回避のために全力を尽くすよう定めています。

■ 経営危機管理体制



○ 事業所におけるリスクマネジメント

環境マネジメントシステムに則り、緊急事態が発生または発生する恐れのある場合や、官公庁・地域住民等から緊急要請を受けた場合を想定し、事業所別に緊急事態の対応策を定めています。

各事業所では、この緊急事態管理規程に基づき、近隣に影響を及ぼすと予測される事態や、周囲に公害発生をもたらす施設に対して、あらかじめそのリスクを抽出し、特定しています。これらのリスクを認識したうえで、事態発生の回避につとめるとともに、発生した場合の迅速な対応ができる体制をとっています。



○ 個人情報保護

個人情報保護に関する法令を遵守し、個人情報を保護することは事業活動の基本であり、社会的責務です。

安全管理に関する「個人情報保護基本規程」を制定し、基本方針に基づき、取得する個人情報（ウェブサイトから提供された個人情報を含みます）について、個人情報を取扱う部門ごとに管理責任者を置き、適切な管理、監督に努めています。

また、個人情報の提供先との間において、秘密保持契約の締結等の方法により、お客様の個人情報を保護するための適切な管理を実施しています。

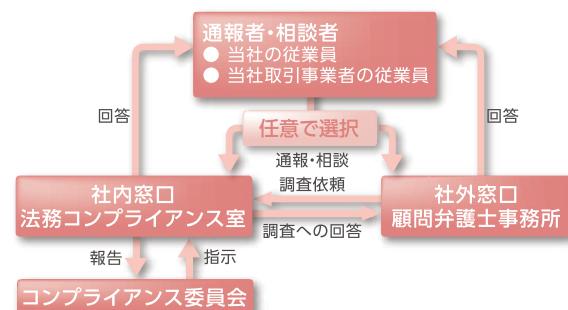
さらに、お客様の個人情報への外部からの不正なアクセスや漏洩等を防止するために、セキュリティの維持・強化にも努めています。

● ホームページの「プライバシーポリシー」に詳細を掲載しております。

○ 内部通報者保護制度

「公益通報者保護法」を遵守するために定めた「内部通報者保護規程」のなかで、通報者・相談者は、会社の中で法令等に違反する行為が生じている、または生じようとしている場合に、社内窓口・社外窓口のどちらにでも通報・相談することができます。

なお、通報者・相談者が通報により不利益な扱いを受けない仕組みを構築しています。



公正な事業慣行

社会に対して倫理的な行動を取るための体制を構築しています

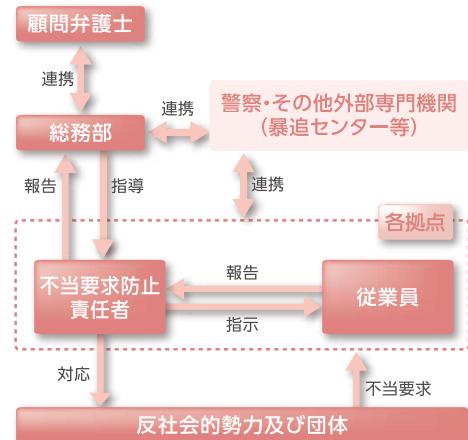
● 反社会的勢力及び団体に対して毅然とした態度で対応します

反社会的勢力及び団体に対しては毅然とした態度を貫き、断固として対決することが企業の社会的責任を全うするうえで不可欠です。そのため、従業員が反社会的勢力及び団体と関与しないように、服務規律として就業規則に明記するだけでなく、これらの団体と向き合うための基本方針や具体的な対応策についての詳細を「反社会的勢力排除マニュアル」に定めています

す。また、取引先の属性をチェックし、取引基本契約書に暴力団排除条項を導入するなど、管理体制の徹底を図っています。経営トップから従業員に至るまで、反社会的勢力からの不当・不法な要求に屈することなく、一切の関係を遮断するため、全社一丸となって組織的な取り組みを実践しています。

「反社会的勢力排除マニュアル」基本原則概要

- 反社会的勢力からの不当要求に直接対処する従業員の安全を確保し、組織として対応する
- 反社会的勢力に備え、警察、その他外部専門機関との緊密な連携関係を構築する
- 反社会的勢力とは一切の関係をもたない
- 有事において民事と刑事の両面から法的対応を行う
- 反社会的勢力からの不当要求が、事業活動上の不祥事などを理由とする場合でも、事実を隠蔽するための裏取引は絶対に行わない
- 反社会的勢力への資金提供は、絶対に行わない



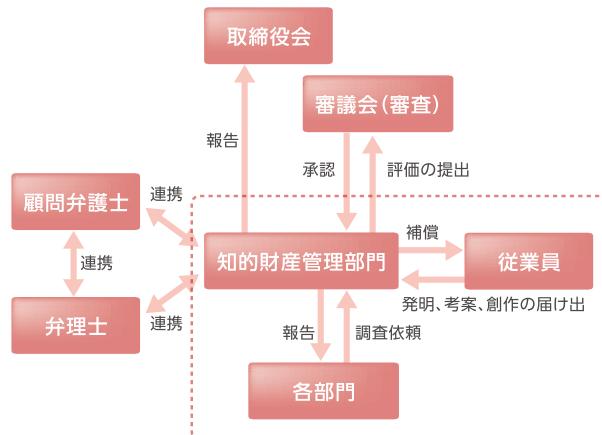
● 知的財産権で競争力を強化

財産権の保護ならびに活用を重視し、特に知的財産権については迅速に調査を行い、より多くの権利保有に力を入れています。また、新製品の発売にあたっては、他社の権利を侵害しないよう、事前に綿密な調査を実施しています。当社では他社に先駆けた権利の取得によって、競争力の強化に努めています。



● 発明などに適正な対価を補償

当社では保有する知的財産を管理、保護に力を入れています。発明、考案、創作に関する取り扱いを明確にし、適正な補償を行うことによって、意欲の向上を図っています。さらに具体的な判断基準を設け、発明、考案、創作の定義や補償に対する内容を明らかにしています。



終わりに 「CSR REPORT2012」を御覧いただき、誠にありがとうございました。当社の環境、社会に対する取り組みを皆様にご理解いただけるよう、今後より一層、内容の充実に努めてまいります。皆様からのご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。



<http://www.eidai.com>

永大産業株式会社

〒559-8658 大阪市住之江区平林南2-10-60 TEL 06-6684-3000(代)

お問い合わせ先：経営企画部 CSR推進室 TEL 06-6684-3062 FAX 06-6684-3068



責任ある森林管理
のマーク
FSC® C022784



A615Ze1211dnDN第1版

2012.11